

# みんなの議会 お知らせ版

一般質問：平成30年6月18日（月）13:00～

30年2定期

順番	質問者	質問項目	答弁者
1	橋場議員	労働契約法第18条の制度を公務労働者に対して、さきに制度化すべきだと思う。国に対し要求すべきと思うがどうか。	町長
2	小峯議員	コンパクトエコタウンの周辺整備について	町長
3	高田議員	定住自立圏協定はメリットがあるのか	町長
4	鵜野議員	子育て交流広場整備事業の計画にあたり、議会と町民に説明と意見を聞く場がなかったが必要性はないと考えたのか。	町長
5	鵜野議員	町が販売する宅地（沼田ニュータウン四季）、工業団地の今後の取組	町長
6	久保議員	JRを「S キップ4」復活や、接続時間スムーズ化で利用促進	町長 教育長
7	大沼議員	少子化対策	町長

平成30年第2回定期会は、6月18日から19日までの予定です。

6月18日 10:00～ 町政行政報告（町長）・教育行政報告（教育長）  
13:00～ 一般質問（7件）

是非、役場3階 議場 までお越しください。

中途からの入場、中途退場もできますので、お気軽に傍聴下さい。  
なお、議員並びに理事者・説明員におきましては、軽装のまま議案審議を行いますので、傍聴の皆様におかれましても、楽な姿勢でご来場願います。

～健康福祉総合センター（役場東側玄関）から入り、エレベーターを利用すると便利です～

お問合せ先：沼田町議会事務局

平成30年 第2回沼田町議会定例会 一般質問要旨

【町長】

通告順	1	質問議員	橋場議員
質問項目	労働契約法第18条の制度を公務労働者に対して、さきに制度化すべきだと思う。国に対し要求すべきと思うがどうか。		
質問内容	<p>2012年8月に公布され、2013年4月1日に施行された労働契約法（以下労契法）第18条では有期労働契約（3ヶ月6カ月1年等期間を定めた労働契約のこと）が5年を超える労働者に有期労働契約を無期労働契約（一度労働契約をすれば65才定年まで働く労働契約です）に転換して申し込みする権利が発生すると定めました。</p> <p>2013年4月1日以前から続けて有期労働契約で働いていた人全員が2018年4月1日から定年まで働く無期労働契約を結ぶ権利が付きました。2013年4月1日から2018年4月1日で満5年です。</p> <p>ところが何とか安い賃金で動労者を使おうとする使用者は色々抜け穴を探して法律から逃れようとしています。例えば、5年間の内続けて6カ月以上労働契約が途切れると、それ以前の契約で働いた期間は雇用期間に数えられないなどの条項があり故意に雇い止めをするなど。これに対して労働組合が「労契法」の相談会などで応援の活動をしております。「働く人が安心して働き続けることが出来る社会を実現しよう」との事です。</p> <p>さて、法律がきちんと施行されているか指導・監督するのが公務員労働者ですがそこには適用されません。自治体労働者全員が正規雇用であり同一労働同一賃金が支払える賃金をしっかり地方交付税を算入するよう国に要求すべきと思うがどうか。</p>		

通告順	2	質問議員	小峯議員
質問項目	コンパクトエコタウンの周辺整備について		
質問内容	<p>昨年10月に2期工事の安心センターが完成し旧中学校の解体も終了しました。</p> <p>安心センターが完成して社会福祉協議会がそこに移ると車庫が必要との議論になった時に中学校の解体後に建設すると聞いていましたがその後どのようになったのか。また現在のコンパクトエコタウン構想の状況と周辺整備など今後どのように進めていく考えか聞きたい。</p>		

通告順	3	質問 議員	高田議員
質問 項目	定住自立圏協定はメリットがあるのか		
質問 内容	<p>町は今定例会において、「定住自立圏の形成に関する協定議案」を議会提出する予定となっています。</p> <p>定住自立圏構想は一般論として、近年人口減少と経済衰退が著しく、都市機能の後退が進んでいる地方中小都市（中心市）の機能回復を進める施策であると考えます。</p> <p>政策分野には、医療・福祉、教育、産業振興など多岐に及び、いずれも町の存続や今後の発展を左右する重要な課題が含まれています。</p> <p>1. 専門家の中には合併誘導につながると揶揄する声もあるが、町長の見解はどうなのか。</p> <p>2. 現有する施設の規模などでは、町村は中心市にはかないませんが、運用方法などソフトの部分を工夫して、中心市に負けない住民サービスを提供しています。協定のメリットはどこにあるのか。</p> <p>3. 中心市の「利益誘導」や「ひとり勝ち」を防ぐために、どのような方策をとっていくのか。</p>		

通告順	4	質問 議員	鵜野議員
質問 項目	子育て交流広場整備事業の計画にあたり、議会と町民に説明と意見を聞く場がなかったが必要性はないと考えたのか。		
質問 内容	<p>子育て交流広場事業（事業費 113,979 千円、ランニングコスト 10,717 千円）は企画の段階で、町民と議会に説明と意見を聞く場がなかった。</p> <p>特に公共施設に係る事業は慎重に取り進めるべきと考える。</p> <p>事業を作り上げる段階でどの様な議論がされたのか。</p> <p>今後、この事業に対して町民、議会の意見を取り入れる考えがあるのか聞きたい。</p>		

通告順	5	質問 議員	鵜野議員
質問 項目	町が販売する宅地（沼田ニュータウン四季）、工業団地の今後の取組		
質問 内容	<p>沼田町はこの1年、転入、転出者で転入超過となりました。</p> <p>行政報告の中に、この動きを加速させたいとあります。</p> <p>町内には空き家、空き地もありますが、沼田町が販売する「沼田ニュータウン四季」もあります。</p> <p>この分譲地10年ほど建設がなく空き地のままで。</p> <p>時代に合った区画、販売額などの変更で魅力ある分譲地にしてはどうか。</p> <p>工業団地においては昨年、企業誘致により、今後誘致できる広い土地がなく、更に誘致を進めるうえで新たな工業団地の開発を必要とするのか、他に考えがあるのか今後の進め方を聞きたい。</p>		

通告順	6	質問議員	久保議員
質問項目	JRを「S キップ4」復活や、接続時間スムーズ化で利用促進		
質問内容	<p>企業誘致は長年、連戦連敗であったが、ここにきて苦労が実り始めてきた。またシダックス、ダ・マルシェの町内進出に続き、株式会社カネカとの「地方創生包括連携協定」など、町外の民間資本の活用による官民が連携した街づくりの効果に期待したい。一方で沼田町は過去に、東海アルミ箔や井原水産などの魅力的な民間資本の流出を見逃がしてきた。企業誘致の長年の苦労を水の泡にしないためにも、企業の維持に先手を打つ必要がある。沼田町が持った最大の民間企業は、明治鉱業ら炭鉱だが、閉山前に炭鉱の住民の生活防衛のために当時の町長が先頭に立ち、町議会でも閉山から9年も先立つ1960年に早くも「沼田町議会石炭特別委員会」を設置した。</p> <p>現在の沼田町にある最大の民間企業は、JR北海道だ。この民間資本の有効利用こそが、他社の町内進出を誘導する説得力になりうる。まさにJRも病院も高校も無い町に町外企業が労働力を求めて企業誘致をする可能性は低いのだ。しかし、沼田町の動きは近隣行政の動きの様子を見を優先し、具体的な行動を行わず、凡庸な調査を行動とすり替えているばかりだ。</p> <p>そこでハードの上下分離ではなく、ソフトの上下分離を行い、JRと利用促進をともに行っていくべきではないだろうか。つまり、ソフトの「上」として沼田町商工会『乗車セール』、沼田長生クラブ『清掃ボランティア』、深川市『市民乗車会』などの民間を応援する一方で、ソフトの「下」としてJRにも沼田町民が利用しやすくなるよう路線の工夫に歩み寄っていただけよう、町長が先頭に立ってJRと論議することが効果的だ。たとえば下記の2点はいかがか。</p> <p>【『S キップ4』の復活】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「4枚つづり・3カ月有効」は、他の交通へ流れた客をJRへ戻す効果大。</li> <li>● 新千歳空港や、将来の日本ハムファイターズ『ボール・パーク』への接続。</li> </ul> <p>【JR留萌線の深川駅での乗り換え時間を利用者の実情に合わせる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 限られた利用者だからこそ、実情に合わせるべき。消費者目線が必要。</li> </ul> <p>沼田町に高校は無いが、高校生はいる。教育委員会は、高校生の通学環境をどう調査し、安心して高校生が住める街にする対策をしているのか。</p>		

通告順	7	質問 議員	大沼議員
質問 項目	少子化対策		
質問 内容	<p>日本の出生率が低い原因として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 子どもに掛かる教育費が高い</li> <li>② 子どもに掛かる生活費が足りない。</li> <li>③ 子育てをしながら仕事を続けることに対し、社会支援が不十分と言われています。</li> </ul> <p>それぞれの原因について町の施策以外に今後も対策を立てる必要があると思います。所信を伺いたい。</p>		